



太田川河川事務所

# ゴギ GoGi通信

No. 126

## 新型の排水ポンプ車を導入しました



今回導入した排水ポンプ車

**災害時の迅速な排水操作が可能になります**

太田川河川事務所では、この度「新型」の排水ポンプ車を太田川及び小瀬川に2台導入しました。

排水ポンプ車は、集中豪雨や台風などの大雨によって居住地側が浸水したり、浸水しそうになったときに、水を川にはき出すためのポンプ設備を搭載した車両であり、太田川河川事務所管内では、平成25年度に延べ3回出動し、排水作業を行いました。

今回導入した排水ポンプ車は、従来のポンプから軽量化が図られ、従来使用していた排水ポンプ車と比較し、ポンプの設置時間が60分から30分と半分に短縮されたため、より迅速な排水作業を行うことが可能となりました。

このポンプ車は、1台で小学校にある25mプールの水を、約10分で空にできる排水能力があります。

今後とも太田川や小瀬川の有事の際には、活躍できることが期待されます。



排水ポンプ車のしくみ

### 排水ポンプ車 (30m<sup>3</sup>/min) 超軽量水中ポンプ式



排水ポンプ車は、集中豪雨や台風などの大雨によって居住地側が浸水したり、浸水しそうになったときに、水を川にはき出すためのポンプ設備を搭載した車です。この1台に、発電機、操作盤、排水ポンプ、排水ホース等、水をはき出すのに必要な設備が全て搭載されています。

#### この車の主要スペック

機関形式：水冷ディーゼル機関 最大162KW (220ps)  
走行装置：4輪駆動  
車両総質量：9,350kg

#### ポンプの主要スペック

総排水量：30 (7.5×4台) m<sup>3</sup>/min (全揚程10mにおいて)  
※水面から堤防の一番上までの高さが10mの時、最大で1分間に30m<sup>3</sup>の水をはき出せます。  
排水時間：連続運転最大48時間 ※発電機の燃料(軽油)のタンク容量:250L  
ポンプ重量：37kg/台 ※アルミ合金、ステンレス鋼筒、チタン合金等を使用。

# 天満川 高潮対策事業を行っています

現在、太田川の市内派川において高潮対策事業を展開しておりますが、本年度は新たに天満川の観船橋から緑大橋の右岸(西区側)に着手しました。工事は、不足している堤防高さの確保と耐震対策です。また、当該区間の内、下流側は平成



観船橋より上流を望む

27年度、上流側は平成26年度に堤防工事が完了し、引き続き広島市による公園整備が行われる予定です。

工事期間中は、騒音、振動及び河岸緑地公園の利用や背後の道路交通規制等が発生しますが、事業の早期完成に努めてまいりますので、今後とも河川事業へのご理解・ご協力をよろしくお願いたします。

地域の  
安心の  
ために

まな  
行われて  
だね!!



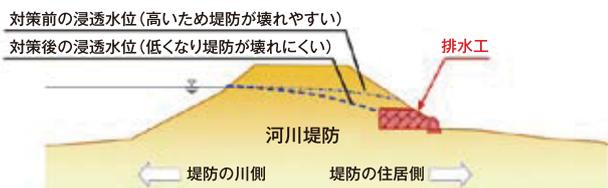
安佐南区東野一丁目付近

# 浸透対策工事を行いました

堤防は、長い年月をかけ現地が発生する様々な材料や工法により築造されているため、その内部構造や地質状況には不明確な点も多く安全性を確保できない場合があります。

そのため、堤防の拡幅や、堤防の材料の一部を水はけのよい材料への置き換えを行うことにより、堤防に浸透する水位を下げ、堤防の安全性を向上させるための工事を行います。

今年度においては広島市安佐北区矢口〜口田地区、同深川地区、広島市安佐南区西原地区、同東原〜川内地区において、堤防の浸透対策工事を行いました。



堤防の浸透対策を実施する箇所の横断イメージ図

注) 今後の調査や検討結果により、工法等を変更する可能性があります。

# 五月が丘地区で 砂防堰堤が完成します

広島市佐伯区五月が丘地区の2つの溪流でそれぞれ施工しておりますが、そのひとつ、五月が丘1号砂防堰堤は3月末に施設の全てが完成します。

そして、その隣の溪流で施工していた五月が丘3号砂防堰堤は3月末で堰堤の本体部分のみが完成します。

3月末で2つの工事は終わりますが、五月が丘地区のその他の溪流において、今後も砂防の工事がつづきます。

地域の皆さまには今後とも砂防事業へのご理解ご協力をよろしくお願ひします。



現在の様子(3月末工期予定)

【五月が丘1号砂防堰堤】  
堰堤型式：部分透過型コンクリート堰堤  
堰堤の高さ：10.0m  
堰頂の長さ：40.0m



打設中の様子



完成した五月が丘3号砂防堰堤

【五月が丘3号砂防堰堤】  
堰堤型式：不透過型コンクリート堰堤  
堰堤の高さ：9.0m  
堰頂の長さ：36.0m



みんなが安心して暮らすことができるよう守っていきよ!

地域  
安全・  
ため

さまざま  
安全対策が  
いるん



# 小瀬川 両国橋架替工事を 実施しています

現在、小瀬川の両国橋付近は、その上下流と比較し狭隘な河道となっております。特に、山口県側が川へ張り出した形状となっており、計画で想定する洪水が安全に流せません。また、両国橋を含め当該区間の道路は見通しが悪く、歩行者、車両にとって危険な状況となっております。さらに、両国橋は老朽化によりその健全性が問題となっております。その対策として、

- ・小瀬川の河道を山口県側へ拡幅(約11m程度)
- ・両国橋の架け替え(上流へ約60m移動)
- ・当該区間の道路(主要地方道岩国大竹線)を拡幅(幅員14m…右折車線含む)を行います。

両国橋架替工事は平成28年度末に完成予定です。



小瀬川へ張り出した地形



狭い1車線道路



老朽化した両国橋



工事状況:平成26年2月25日現在

# 広島市 総合防災訓練に参加

平成26年1月20日(月)に広島市総合防災訓練が広島市等、90機関の延べ約3600名が参加し実施されました。訓練は、広島市内に最大震度6弱が観測されたという想定で広島市役所へ災害対策本部が設置されました。

訓練会場は、広島市内のJR広島駅北口等7箇所で開催されており、そのうち太田川左岸・天水(あまず)グラウンドにて応急復旧訓練を実施しました。

太田川河川事務所は、事務所職員を情報連絡員として広島市災害対策本部に派遣するとともに天水グラウンドにて、応急対策班の一員として、堤防の応急復旧訓練に参加しました。



堤防応急復旧の様子

# 衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT II)を 活用した通信訓練

大規模災害が発生し、電話携帯電話などの通信手段が不通となった場合、被災状況や安否確認、避難指示などの情報伝達が遮断され、人命に関わる災害対応において深刻な問題となります。

このため、災害時の通信確保として、通信衛星を活用したこの衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)は、被災地を結ぶ心強いネットワークとなります。

さらに、今回更新されたKu-SAT IIは、小型化され運搬が容易で組み立ても簡素化されている点で、大規模災害時の現場対応にも優れた通信機器と言えます。

この通信機器を災害時に迅速かつ確実に設置し、情報伝達が速やかに確保できるよう、太田川河川事務所においても、職員によるKu-SAT IIの組み立て、

機器設定、映像伝送等の技術的な通信訓練を実施し、災害に備えています。



Ku-SAT IIによる通信訓練  
(太田川河川事務所の屋上にて)

## Topics 東日本大震災で活躍したKu-SAT

東日本大震災では、太田川河川事務所の衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)と職員が岩手県大槌町に派遣しました。

大槌町役場は、津波により被災し公民館に仮設の災害対策本部を設置したため、災害通信設備がなかったことや震災により電話等の一般通信施設が不通となったため、設置したKu-SATが通信機器として活用されました。

大槌町役場からは、「ほんとうにありがたかった。早くから設置していただき、非常に助かった。また他の衛星携帯に比べて、使い勝手が非常に良かった。」とのお言葉を頂きました。



大槌町災害対策本部に設置されたKu-SAT

## 持ち帰っていただいた伐採木の活用事例をご紹介します。

### 広島市安佐南区口田南の林さん宅

左:兄の英二さん(会社員)  
右:弟の浩三さん(ネイチャーガイド)

太田川河川事務所では河川管理上支障となる河川内の樹木を一般の希望者に伐採していただき、無償で持って帰っていただく取り組みを実施しています。今回は伐木をお持ち帰り頂いた安佐南区の林さんに活用事例を取材しました。

林さんは家の裏山でキノコを栽培していますが、そこは50年前までは花崗岩の採掘場だった場所、約20年前からネイチャー活動をするために整備していったのだそうです。今では栽培している4種類のキノコ(ムキタケ、エノキダケ、なめこ、



クリタケ)の他、自生する椎茸やごく稀にヤマドリタケモドキも収穫しています。なんでもヤマドリタケモドキはヨーロッパでは「ボルチーニ」と呼ばれ世界三大キノコの一つと言われているんだそうです。

「3年前から伐木を頂いています。最初は薪ストーブの燃料用だったんですが、最近では専らキノコの栽培用で使用して助かっています。この場所ではキノコの栽培体験イベントも実施していて、今年の11月ごろ収穫するキノコもイベントに参加された方に持って帰ってもらうんですよ。」とは兄の英二さん。キノコを収穫する林さんやイベントに参加される方々の笑顔が目につくようでした。

みなさんも是非伐木の利用方法の参考にしてみてください。



樹木に穴をあけて菌を詰め込みます。



キノコの菌を植えた樹木

